

# 地震観測施設一覧<sup>\*0</sup>（2019年4月1日現在）

地震調査研究推進本部調べ

項目 担当機関	高感度地震計		広帯域地震計		強震計		地殻変動				海底地殻変動 (海底基準局)	地下水	地球 電磁気	重力	検潮 ・ 津波	
	陸	海底 <sup>*1</sup>	TYPE1 <sup>*2</sup>	TYPE2 <sup>*3</sup>	地上	地下	GNSS	SLR	VLBI	歪計等 <sup>*4</sup>						
国立大学法人	234	3(1)	10 <sup>*5</sup>	35 <sup>*5</sup>	105	19	65				75	32	8	24	2	4
防災科学技術研究所	782	207(9)	16	108	1742	695					40					204
海洋研究開発機構		7(2)		3												2
国土交通省					453	38										66
国土地理院	1						1335		1					14		25
気象庁	244	13(3)		20	684						42			6		106
海上保安庁							7	1				23				20
産業技術総合研究所	29						11				24		47			
合計	1290	230(15)	26	166	2984 <sup>*6</sup>	752	1418	1	1		181	55	55	44	2	427

(\*0) 臨時観測点は対象外。

(\*1) 括弧内はケーブルの本数。

(\*2) 小地震から地球自由振動まで解析可能な周波数帯域をカバーする広帯域地震計。(例: STS1、CMG1T)

(\*3) 微小地震から津波地震のうち比較的卓越周期の短いものまで解析可能な周波数帯域をカバーする広帯域地震計。(例: STS2、CMG3T)

(\*4) 歪計、体積歪計、多成分歪計、傾斜計、伸縮計等を示す。

(\*5) 国立大学法人の広帯域地震計は、高感度地震計に併設されている、または高感度地震計と兼ねて運用しているため、高感度地震計の内数となる。

(\*6) この他に、地方公共団体の震度計約2,900地点等がある。